

社会資本総合整備計画書（第1回変更）

日向の安全・安心な都市公園づくり（防災・安全）

宮崎県日向市

令和4年12月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年12月23日

計画の名称	日向の安全・安心な都市公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和07年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	日向市												
計画の目標	市民の「憩いの場」、「健康増進」等の拠点である総合公園及び運動公園において、公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新を実施することにより、子どもから高齢者を含む誰もが安全で安心して利用できる都市公園の保全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	732	A	732	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R7末
1	令和9年度までに公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新が必要な割合を83%（R4）から20%（R7）まで達成させる。 安全安心の施設更新必要率を測定する。 安全安心の施設更新必要率（%） = （補修・更新が必要な箇所数） - （補修・更新を完了した箇所数） / （施設数） × 100	83%	35%	20%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

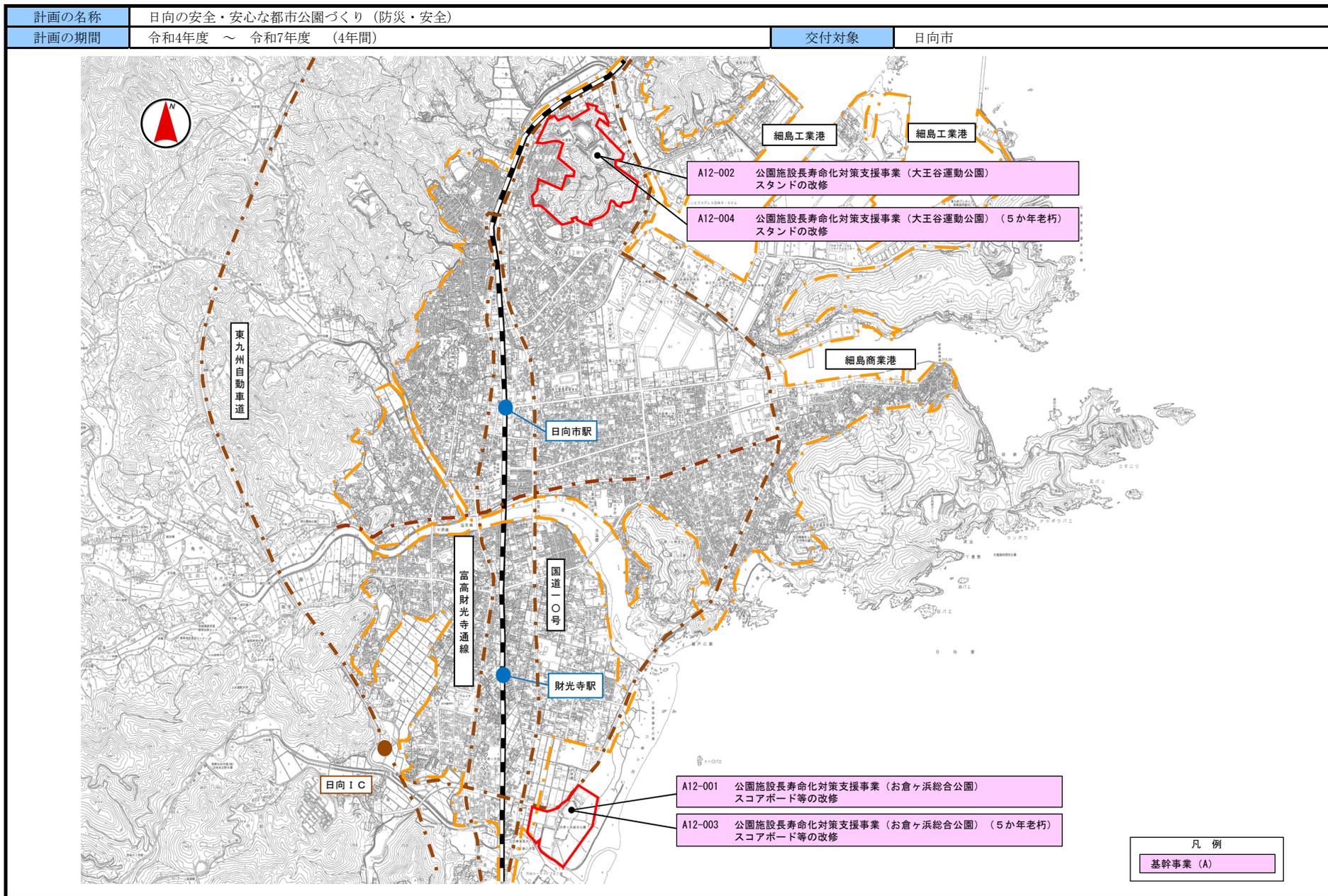
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	日向市	直接	日向市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(お倉ヶ浜総合公園)	A=24.12ha、スコアボード等の改修	日向市						452	9.10	策定済	
	A12-002	公園	一般	日向市	直接	日向市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(大王谷運動公園)	A=52.5ha、スタンドの改修	日向市						80	5.82	策定済	
	A12-003	公園	一般	日向市	直接	日向市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(お倉ヶ浜総合公園)(5か年老朽)	A=24.12ha、スコアボード等の改修	日向市						180	9.10	策定済	
	A12-004	公園	一般	日向市	直接	日向市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(大王谷運動公園)(5か年老朽)	A=52.5ha、スタンドの改修	日向市						20	5.82	策定済	
												小計						732		
												合計						732		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	
配分額 (a)	3	256			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	3	256			
前年度からの繰越額 (d)	0	3			
支払済額 (e)	0	89			
翌年度繰越額 (f)	3	170			
うち未契約繰越額 (g)	0	4			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0.00%	1.54%			
未契約繰越率＋不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 日向の安全・安心な都市公園づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

